

## 本県における高病原性鳥インフルエンザの発生及び防疫対応について（1 事例目）

### 1 発生の概要

- (1) 農場所在地：盛岡市  
 (2) 飼養状況：採卵用成鶏 約 12 万羽  
 (3) 経緯等

期日	時刻	内容
1 / 1 (水)	10 : 30	農場から中央家畜保健衛生所（以下「中央家保」という。）に、鳥インフルエンザを疑う死亡数の増加について報告
	14 : 20	中央家保が農場に立ち入りし、簡易検査を実施した結果、10 羽中 9 羽で「陽性」を確認
1 / 2 (木)	9 : 00	中央家保において、遺伝子検査（PCR 検査）を実施した結果、10 羽中 10 羽で「陽性」を確認 国において、疑似患畜と判定
1 / 8 (水)	17 : 00	国において、高病原性鳥インフルエンザ「H5N1 亜型」の患畜であることを確認

### 2 本県の防疫対応等

#### (1) 経過

期日	時間	防 疫 措 置
1 / 2 (木)	9 : 00	・高病原性鳥インフルエンザ対策本部の設置 ・発生農場から半径 3 km の区域を移動制限区域に、半径 3 ～ 10 km の区域を搬出制限区域に設定 ・県内の国道 4 号などに、畜産関係車両等の消毒を実施する「消毒ポイント」を 4 か所設置
	9 : 00	・発生農場での殺処分を開始
	10 : 00	・埋却地の掘削を開始
	20 : 00	・殺処分した鶏の埋却を開始
1 / 5 (日)	1 : 00	・発生農場での殺処分を完了（殺処分した鶏：119,697 羽）
1 / 6 (月)	18 : 00	・殺処分した鶏等の埋却を完了、発生農場の消毒（1 回目）を完了 ⇒ 発生農場の防疫措置の完了
2 / 11 (火)	9 : 00	・搬出制限区域を解除し、消毒ポイントを 3 か所廃止 ・当該区域の農場の監視強化を継続
2 / 22 (土)	0 : 00	・移動制限区域を解除し、残り 1 か所の消毒ポイントを廃止 ・監視強化区域（発生農場から半径 10 km）の農場の監視強化を継続
3 / 1 (土)	9 : 00	・監視強化区域を解除

## (2) 防疫措置等への従事者数等

### ア 県職員

延べ2,102人（防疫作業に直接従事した職員 延べ1,171人、地方支部において運営等に従事した職員 延べ931人）

### イ 関係団体等の職員 ※殺処分、埋却処分、農場等の消毒作業に直接従事した人数

市町村 延べ35人（2市：盛岡市 延べ33人、八幡平市 延べ2人）

関係団体 延べ1,577人（岩手県建設業協会盛岡支部 延べ135人、ALSOK岩手 延べ1,305人、県ペストコントロール協会 延べ137人）

## (3) 防疫措置への協力団体・企業

### ア 他自治体

協力団体・企業	業務内容
盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手町	消毒ポイント・集合施設の運営等

### イ 民間団体・企業（五十音順）

協力団体・企業	業務内容
ALSOK岩手(株)	消毒ポイントにおける畜産関係車両等の消毒作業
(一社)岩手県建設業協会盛岡支部	殺処分した鶏の埋却作業等
(一社)岩手県高圧ガス保安協会	鶏の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
岩手県石油商業協同組合	防疫作業に使用する資機材等の燃料の調達
(一社)岩手県動物薬品器材協会	防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
(公社)岩手県トラック協会	防疫作業に使用する資機材等の運搬
(公社)岩手県バス協会	防疫作業従事者を移送するためのバスの手配
(一社)岩手県ペストコントロール協会	消毒ポイントの運営
(株)ドコモビジネスソリューションズ	緊急対応用スマートフォンの提供（無償）
(一社)日本建設機械レンタル協会東北ブロック岩手支部	防疫作業に使用する資機材等の調達

## (4) 農林水産省からの支援

- ① 県との連携調整のため、東北農政局職員を派遣（畜産課に駐在：1/2（木））
- ② 発生原因調査のため、国の疫学調査チームが発生農場への立入調査を実施（1/2（木））

## 3 今後の対応

養鶏農場に対し、出入りする車両の消毒や野鳥の侵入防止対策などを徹底するよう注意喚起を継続する。

#### 4 その他

- (1) 盛岡地域におけるまん延防止のための消毒強化（1/24（金）～）
- (2) 県内全域における発生防止のための緊急消毒を実施（1/25（土）～）
- (3) 養鶏関係者を対象に、高病原性鳥インフルエンザ発生防止・まん延防止強化連絡会議を開催（1/15（水）・1/30（木））

## 本県における高病原性鳥インフルエンザの発生及び防疫対応について（3事例目 盛岡市）

### 1 発生の概要

- (1) 農場所在地：盛岡市  
 (2) 飼養状況：採卵用成鶏 約40万羽  
 (3) 経緯等

期日	時刻	内容
1/10（金）	16：10	農場から中央家畜保健衛生所（以下「中央家保」という。）に、鳥インフルエンザを疑う死亡数の増加について報告
	19：00	中央家保が農場に立ち入りし、簡易検査を実施した結果、10羽中3羽で「陽性」を確認
1/11（土）	9：00	中央家保において、遺伝子検査（PCR検査）を実施した結果、10羽中3羽で「陽性」を確認 国において、疑似患畜と判定
1/20（月）	17：00	国において、高病原性鳥インフルエンザ「H5N1亜型」の患畜であることを確認

### 2 本県の防疫対応等

#### (1) 経過

期日	時間	防 疫 措 置
1/11（土）	9：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議の開催</li> <li>・発生農場から半径3kmの区域を移動制限区域に、半径3～10kmの区域を搬出制限区域に設定</li> <li>・県内の国道4号などの畜産関係車両等の消毒を実施する「消毒ポイント」4か所の運営を継続</li> </ul>
	9：00	・発生農場での殺処分を開始
	9：30	・埋却地の掘削を開始
	19：00	・殺処分した鶏の埋却を開始
1/15（水）	23：00	・発生農場での殺処분을完了（殺処分した鶏：403,775羽）
1/16（木）	21：00	・殺処分した鶏等の埋却を完了、発生農場の消毒（1回目）を完了 ⇒ <u>発生農場の防疫措置の完了</u>
2/11（火）	9：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬出制限区域を解除し、消毒ポイントを3か所廃止</li> <li>・当該区域の農場の監視強化を継続</li> </ul>
2/22（土）	0：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動制限区域を解除し、残り1か所の消毒ポイントを廃止</li> <li>・監視強化区域（発生農場から半径10km）の農場の監視強化を継続</li> </ul>
3/1（土）	9：00	・監視強化区域を解除

## (2) 防疫措置等への従事者数

ア 県職員 延べ3,211人（防疫作業に直接従事した職員 延べ2,188人、地方支部において運営等に従事した職員 延べ1,023人）

イ 関係団体等の職員 ※殺処分、埋却処分、農場等の消毒作業に直接従事した人数

県外からの応援獣医師 延べ24人（11県：青森県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、島根県、岡山県、広島県、佐賀県）

自衛隊 延べ553人

東北農政局職員 延べ20人

市町村 延べ62人（16市町村：盛岡市 延べ39人、久慈市 延べ2人、二戸市 延べ3人、八幡平市 延べ2人、滝沢市 延べ1人、

雫石町 延べ1人、葛巻町 延べ1人、岩手町 延べ1人、紫波町 延べ1人、矢巾町 延べ1人、普代村 延べ1人、

軽米町 延べ2人、野田村 延べ1人、九戸村 延べ2人、洋野町 延べ3人、一戸町 延べ1人）

岩手県建設業協会盛岡支部 延べ370人

※ 消毒ポイントの運営については、1事例目からの継続でALSOK岩手、岩手県ペストコントロール協会が対応

※ ALSOK岩手、岩手県ペストコントロール協会は1事例目に計上

### (3) 防疫措置への協力団体・企業

#### ア 国・他自治体

協力団体・企業	業務内容
陸上自衛隊 岩手駐屯地	防疫作業
東北農政局	防疫作業
青森県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、島根県、岡山県、広島県、佐賀県	防疫作業（獣医師派遣）
盛岡市、久慈市、二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町	防疫作業（全ての市町村） 集合施設の運営、防疫作業従事者に対する健康観察等（盛岡市）

#### イ 民間団体・企業（五十音順）

協力団体・企業	業務内容
ALSOK岩手(株)	消毒ポイントにおける畜産関係車両等の消毒作業
(一社) 岩手県建設業協会盛岡支部	殺処分した鶏の埋却作業等
(一社) 岩手県高圧ガス保安協会	鶏の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
岩手県石油商業協同組合	防疫作業に使用する資機材等の燃料の調達
(一社) 岩手県動物薬品器材協会	防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
(公社) 岩手県トラック協会	防疫作業に使用する資機材等の運搬
(公社) 岩手県バス協会	防疫作業従事者を移送するためのバスの手配・運行
(一社) 岩手県ペストコントロール協会	消毒ポイントの運営
(公財) 岩手県予防医学協会	防疫作業従事者に対する健康観察
佐川急便株式会社北東北支店	防疫作業に使用する資機材の県外からの搬送
(株)ドコモビジネスソリューションズ	緊急対応用スマートフォンの提供（無償）
(一社) 日本建設機械レンタル協会東北ブロック岩手支部	防疫作業に使用する資機材等の調達

### (4) 農林水産省からの支援

- ① 知事と農林水産大臣政務官との会談（1/11（土））
- ② 県との連携調整のため、消費・安全局動物衛生課職員及び東北農政局職員を派遣（畜産課に駐在：1/10（金）～1/16（木））
- ③ 発生原因調査のため、国の疫学調査チームが発生農場への立入調査を実施（1/11（土））
- ④ 知事と農林水産大臣政務官との会談（1/16（木））

### 3 今後の対応

養鶏農場に対し、出入りする車両の消毒や野鳥の侵入防止対策などを徹底するよう注意喚起を継続する。

### 4 その他

- (1) 盛岡地域におけるまん延防止のための消毒強化（1/24（金）～）
- (2) 県内全域における発生防止のための緊急消毒を実施（1/25（土）～）
- (3) 養鶏関係者を対象に、高病原性鳥インフルエンザ発生防止・まん延防止強化連絡会議を開催（1/15（水）・1/30（木））

## 本県における高病原性鳥インフルエンザの発生及び防疫対応について（4事例目 盛岡市）

### 1 発生の概要

- (1) 農場所在地：盛岡市  
 (2) 飼養状況：採卵用成鶏 約 36 万羽  
 (3) 経緯等

期日	時刻	内容
1/21 (火)	9:35	農場から中央家畜保健衛生所（以下「中央家保」という。）に、鳥インフルエンザを疑う死亡数の増加について報告
	12:50	中央家保が農場に立ち入りし、簡易検査を実施した結果、10羽中6羽で「陽性」を確認
1/22 (水)	8:30	中央家保において、遺伝子検査（PCR検査）を実施した結果、10羽中7羽で「陽性」を確認 国において、疑似患畜と判定
1/30 (木)	17:00	国において、高病原性鳥インフルエンザ「H5N1亜型」の患畜であることを確認

### 2 本県の防疫対応等

#### (1) 経過

期日	時間	防 疫 措 置
1/22 (水)	8:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生農場から半径3kmの区域を移動制限区域に、半径3～10kmの区域を搬出制限区域に設定</li> <li>・県内の国道4号などの畜産関係車両等の消毒を実施する「消毒ポイント」4か所の運営を継続</li> </ul>
	8:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議の開催</li> <li>・発生農場での殺処分を開始</li> </ul>
	15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋却地の掘削を開始</li> </ul>
	20:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺処分した鶏の埋却を開始</li> </ul>
1/29 (水)	9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生農場での殺処분을完了（殺処分した鶏：358,258羽）</li> </ul>
1/31 (金)	21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺処分した鶏等の埋却を完了、発生農場の消毒（1回目）を完了 ⇒ <u>発生農場の防疫措置の完了</u></li> </ul>
2/11 (火)	9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬出制限区域を解除し、消毒ポイントを3か所廃止</li> <li>・当該区域の農場の監視強化を継続</li> </ul>
2/22 (土)	0:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動制限区域を解除し、残り1か所の消毒ポイントを廃止</li> <li>・監視強化区域（発生農場から半径10km）の農場の監視強化を継続</li> </ul>
3/1 (土)	9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視強化区域を解除</li> </ul>



## (2) 防疫措置等への従事者数

ア 県職員 延べ3,187人（防疫作業に直接従事した職員 延べ1,812人、地方支部において運営等に従事した職員 延べ1,375人）

イ 他自治体・関係団体等の職員 ※殺処分、埋却処分、農場等の消毒作業に直接従事した人数

県外からの応援獣医師 延べ16人（9府県：山形県、宮城県、富山県、奈良県、京都府、岡山県、広島県、大分県、宮崎県）

市町村 延べ154人（33市町村：盛岡市 延べ102人、宮古市 延べ1人、大船渡市 延べ1人、花巻市 延べ2人、北上市 延べ2人、

久慈市 延べ2人、遠野市 延べ1人、一関市 延べ5人、陸前高田市 延べ1人、釜石市 延べ1人、二戸市 延べ3人、  
八幡平市 延べ2人、奥州市 延べ3人、滝沢市 延べ1人、雫石町 延べ1人、葛巻町 延べ1人、岩手町 延べ1人、  
紫波町 延べ1人、矢巾町 延べ1人、西和賀町 延べ1人、金ヶ崎町 延べ1人、平泉町 延べ1人、住田町 延べ1人、  
大槌町 延べ1人、山田町 延べ1人、岩泉町 延べ1人、田野畑村 延べ1人、普代村 延べ1人、軽米町 延べ3人、  
野田村 延べ1人、九戸村 延べ3人、洋野町 延べ4人、一戸町 延べ2人）

関係団体 延べ658人（岩手県建設業協会盛岡支部 延べ357人、阪急交通社 延べ180人、フルキャスト 延べ121人）

※ 消毒ポイントの運営については、1事例目からの継続でALSOK岩手、岩手県ペストコントロール協会が対応

※ ALSOK岩手、岩手県ペストコントロール協会は1事例目に計上

(3) 防疫措置への協力団体・企業

ア 他自治体

協力団体	業務内容
山形県、宮城県、富山県、奈良県、京都府、岡山県、広島県、大分県、宮崎県	防疫作業（獣医師派遣）
盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町	防疫作業（全ての市町村） 集合施設の運営、防疫作業従事者に対する健康観察等（盛岡市）

イ 民間団体・企業（五十音順）

協力団体・企業	業務内容
ALSOK岩手(株)	消毒ポイントにおける畜産関係車両等の消毒作業
(公財) 岩手県看護協会	防疫作業従事者に対する健康観察
(一社) 岩手県建設業協会盛岡支部	殺処分した鶏の埋却作業等
(一社) 岩手県高圧ガス保安協会	鶏の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
岩手県石油商業協同組合	防疫作業に使用する資器材等で使用する燃料の調達調整
(一社) 岩手県動物薬品器材協会	防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
(公社) 岩手県トラック協会	防疫作業に使用する資機材等の運搬
(公社) 岩手県バス協会	防疫作業従事者を移送するためのバスの手配・運行
(一社) 岩手県ペストコントロール協会	消毒ポイントの運営
(株)ドコモビジネスソリューションズ	緊急対応用スマートフォンの提供（無償）
(一社) 日本建設機械レンタル協会東北ブロック岩手支部	防疫作業に使用する資機材等の調達
(株)阪急交通社	防疫作業
(株)フルキャスト	防疫作業

#### (4) 農林水産省からの支援

- ① 知事と農林水産大臣政務官との会談（1/22（水））
- ② 県との連携調整のため、消費・安全局動物衛生課職員及び東北農政局職員を派遣（1/21（火））
- ③ 本県におけるまん延防止を図るため、農林水産省鳥インフルエンザ岩手県現地防疫対策本部を設置（1/22（水）～）
- ④ 発生原因調査のため、国の疫学調査チームが発生農場への立入調査を実施（1/22（水））

### 3 今後の対応

養鶏農場に対し、出入りする車両の消毒や野鳥の侵入防止対策などを徹底するよう注意喚起を継続する。

### 4 その他

- (1) 盛岡地域におけるまん延防止のための消毒強化（1/24（金）～）
- (2) 県内全域における発生防止のための緊急消毒を実施（1/25（土）～）
- (3) 養鶏関係者を対象に、高病原性鳥インフルエンザ発生防止・まん延防止強化連絡会議を開催（1/15（水）・1/30（木））

## 本県における高病原性鳥インフルエンザの発生及び防疫対応について（5事例目 盛岡市）

### 1 発生の概要

- (1) 農場所在地：盛岡市  
 (2) 飼養状況：採卵用成鶏 約 30 万羽  
 (3) 経緯等

期日	時刻	内容
1/21 (火)	12:00	農場から中央家畜保健衛生所（以下「中央家保」という。）に、鳥インフルエンザを疑う死亡数の増加について報告
	13:50	中央家保が農場に立ち入りし、簡易検査を実施した結果、10羽中10羽で「陽性」を確認
1/22 (水)	8:30	中央家保において、遺伝子検査（PCR検査）を実施した結果、10羽中10羽で「陽性」を確認 国において、疑似患畜と判定
1/30 (木)	17:00	国において、高病原性鳥インフルエンザ「H5N1亜型」の患畜であることを確認

### 2 本県の防疫対応等

#### (1) 経過

期日	時間	防疫措置
1/22 (水)	8:30	・発生農場から半径3kmの区域を移動制限区域に、半径3～10kmの区域を搬出制限区域に設定 ・県内の国道4号などの畜産関係車両等の消毒を実施する「消毒ポイント」4か所の運営を継続
	8:35	・高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議の開催 ・発生農場での殺処分を開始
	15:00	・埋却地の掘削を開始
	20:00	・殺処分した鶏の埋却を開始
1/27 (月)	19:00	・発生農場での殺処분을完了（殺処分した鶏：303,712羽）
1/30 (木)	12:00	・殺処分した鶏等の埋却を完了、発生農場の消毒（1回目）を完了 ⇒ <u>発生農場の防疫措置の完了</u>
2/11 (火)	9:00	・搬出制限区域を解除し、消毒ポイントを3か所廃止 ・当該区域の農場の監視強化を継続
2/22 (土)	0:00	・移動制限区域を解除し、残り1か所の消毒ポイントを廃止 ・監視強化区域（発生農場から半径10km）の農場の監視強化を継続
3/1 (土)	9:00	・監視強化区域を解除

(2) 防疫措置等への従事者数

ア 県職員 延べ1,055人（防疫作業に直接従事した職員 延べ1,055人、地方支部において運営等に従事した職員は4事例目に計上）

イ 国・他自治体・関係団体等の職員 ※殺処分、埋却処分、農場等の消毒作業に直接従事した人数

自衛隊 延べ301人

東北農政局職員 延べ30人

県外からの応援獣医師 延べ16人（7道府県：北海道、青森県、秋田県、宮城県、京都府、岡山県、宮崎県）

関係団体 延べ630人（岩手県建設業協会盛岡支部 延べ331人、(株)阪急交通社 延べ180人、(株)フルキャスト 延べ119人）

※ ALSOK岩手、岩手県ペストコントロール協会は1事例目に計上

### (3) 防疫措置への協力団体・企業

#### ア 国・他自治体

協力団体	業務内容
陸上自衛隊 岩手駐屯地	防疫作業
東北農政局	防疫作業
北海道、青森県、秋田県、宮城県、京都府、岡山県、宮崎県	防疫作業（獣医師派遣）
盛岡市	集合施設の運営、防疫作業従事者に対する健康観察等

#### イ 民間団体・企業（五十音順）

協力団体・企業	業務内容
ALSOK岩手(株)	消毒ポイントにおける畜産関係車両等の消毒作業
(公財) 岩手県看護協会	防疫作業従事者に対する健康観察
(一社) 岩手県建設業協会盛岡支部	殺処分した鶏の埋却作業等
(一社) 岩手県高圧ガス保安協会	鶏の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
岩手県石油商業協同組合	防疫作業に使用する資器材等で使用する燃料の調達調整
(一社) 岩手県動物薬品器材協会	防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
(公社) 岩手県トラック協会	防疫作業に使用する資機材等の運搬
(公社) 岩手県バス協会	防疫作業従事者を移送するためのバスの手配・運行
(一社) 岩手県ペストコントロール協会	消毒ポイントの運営
(株)ドコモビジネスソリューションズ	緊急対応用スマートフォンの提供（無償）
(一社) 日本建設機械レンタル協会東北ブロック岩手支部	防疫作業に使用する資機材等の調達
(株)阪急交通社	防疫作業
(株)フルキャスト	防疫作業

#### (4) 農林水産省からの支援

- ① 知事と農林水産大臣政務官との会談（1/22（水））
- ② 県との連携調整のため、消費・安全局動物衛生課職員及び東北農政局職員を派遣（1/21（火））
- ③ 本県におけるまん延防止を図るため、農林水産省鳥インフルエンザ岩手県現地防疫対策本部を設置（1/22（水）～）
- ④ 発生原因調査のため、国の疫学調査チームが発生農場への立入調査を実施（1/22（水））

### 3 今後の対応

養鶏農場に対し、出入りする車両の消毒や野鳥の侵入防止対策などを徹底するよう注意喚起を継続する。

### 4 その他

- (1) 盛岡地域におけるまん延防止のための消毒強化（1/24（金）～）
- (2) 県内全域における発生防止のための緊急消毒を実施（1/25（土）～）
- (3) 養鶏関係者を対象に、高病原性鳥インフルエンザ発生防止・まん延防止強化連絡会議を開催（1/15（水）・1/30（木））

## 高病原性鳥インフルエンザ対策本部の廃止について

監視強化区域が解除されたことから、令和7年3月1日9時00分に、高病原性鳥インフルエンザ対策本部を廃止する。